

氏名	M・Y
専攻	農学国際
学年	修士2年
渡航先	インドネシア・バリ島
期間	2019年8月22日～2019年8月31日
内容	<p>私が本海外研究を通じて持続可能な農業の実現のためにはどのような視点や考えを持つべきなのか深く考えさせられました。従来、私達は持続可能性の高い農業とは何かと問われると人間が生活を快適に送るという点は後回しにし、それ以上に有機農法や環境負荷の少ない新たな製品の開発とは何かという議論が行われる傾向にあります。しかしながら、バリ島の農業では今ある資源を最大限有効活用し、環境の負荷を軽減させると同時に人間にとっての快適な生活を追求した姿勢が見られました。例えば、私達が訪れた“Green Village”では竹の持つ建材としての可能性を最大限に引き出すために現地職人技術と最新技術を融合、完成された優れた建材を用いて、斬新かつモダンな竹の建築物の建築に成功していました。この Green Village への訪問は私にとって非常に印象的であり、自らの持続可能な農業への考え方を大きく変える経験となりました。持続可能な農業を実現するためには人間が我慢し、無理を強いられる策を取り続けていくは継続していきません。だからこそいかにうまく自然と人間の生活を融合させていくのか考えていかなければならないと思いました。</p>

